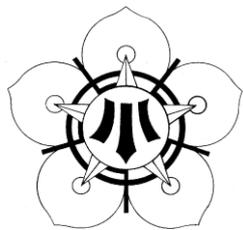


地域と家庭と学校が一つになって子供を育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生第七小学校ホームページ

<http://fussa-7e.hs.plala.or.jp/>

福生市立福生第七小学校

令和5年度 学校だより

発行責任者

校長 山岸 史子

所在地

福生市北田園一丁目1番地1

令和 5年8月29日 発行

2学期のスタートに寄せて

校長 山岸 史子

日の出の時刻が遅くなり、日が暮れると秋の虫の声が降り注ぐように聞こえるようになりました。こんなにも暑かった夏も終わりを迎えてはいるのでしょうか。今年は猛暑日が20日を超える記録的な暑さに見舞われた夏となりました。子どもたちを外で遊ばせることができず、家の中で過ごさせざるを得ないことが多かったのではないのでしょうか。

近年、学校でも夏休みの水泳指導が、高温のために中止となることが増えていきます。水温も気温も30度を超えることも少なくありません。指導中だけでなく、登下校の時間帯に熱中症警戒アラートが出されていることもあり、心配は尽きません。2学期が始まりましたが、学校での学習活動も安全を第一に考えて進めていきます。

夏の風物詩でもある甲子園も、熱く沸きました。優勝を107年ぶりに成し遂げた慶應高校の生徒たちの様子や森林監督の指導にも注目も集まりました。自由な髪型はまず話題となりましたが、そればかりではありません。新しい高校野球の在り方という言葉が、あちこちで聞かれました。

私たちは自分が経験してきたことが基盤となって価値判断をしています。各家庭の生活習慣や子育ても同様だと思います。最近により良いものにしていきたくて多くの情報から自分たちの今までの常識を見直し、取り組んでいる方もいらっしゃると思います。

学校についても、保護者、地域の方々のご自身の学校での体験をもとにこういうものだというイメージをおもちかと思えます。教職員もまた、自分が体験してきたことが基準となっています。中学校の校則などは、以前から続いていることだからとしていたものも、生徒たちと共に見直しをかけて刷新していく学校も少なくありません。時代の流れの中で見失ってはならない大切なことと、時代による変化とともに価値観を見直し、改善していかなければならないことがあります。この20年ほどの社会の変化のスピードに対応していくためには、学校のバージョンアップが必須です。子どもたちの置かれている自然環境も社会的な環境も、当たり前ですが、自分たちの頃とは違います。

改めて、私たち教職員は、子どもたちの話をよく聴き、子どもたちをしっかりと見つめ、実態を把握し、今必要なことは何かを見極めることが重要だと確認しました。そして、その実態を早期に保護者の皆さんや地域の皆さんと共有し、協働して子どものより良い未来につなげていく必要があります。

この2学期スタートを機に、子どもたちの今を、発信していくよう努めます。ご理解とご協力を、よろしく願いいたします。